

実施概要

催事名	「アートとトークによる多様性尊重の社会づくり展」 かく、みる、つなぐ-こころの軌跡をたどる
開催趣旨	こころの健康問題は、国民の4人に1人以上が経験する大きな問題で、本人や家族に大きな苦しみをもたらします。また社会へのインパクトも大きいですが、そのことは社会の中で十分理解されていません。 多様性尊重の社会づくりを進めるうえで、きわめて重要なこころの健康問題をテーマに、こころの健康問題を体験した人たちとそのアートを中心に置いて、さまざまなかたちのトークや交流を活用した、多様性尊重の社会づくりの啓発イノベーションの発信を目的として開催します。
日時	2017（平成29）年12月2日（土）～12月17日（日） 10:00-17:00（最終日は16:30に終了）
会場	〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミュージアム川崎シンフォニーホール 4F 企画展示室ほか
展示内容	・有馬忠士作品展「有馬忠士・夢宇宙の闇と光をめぐる旅」 ・織田信生作品「王様と私と強者たち」 ・クロマニンゲン集合 ※入場料無料
トーク イベント	①12月2日（土）「オープニングセレモニー・クロマニンゲン宣言」 ②12月3日（日）「ともにそだて、ともにいきる」 ③12月9日（土）「つらくなること、なやむことを、ちからにする」 ④12月10日（日）「子どもが逆境を経験することについて」 ⑤12月13日（水）「みえないから、みえる」 ⑥12月16日（土）「コミュニティのトラウマとアートの役割」 ⑦12月17日（日）「かく、みる、つなぐ、作品の社会的価値と保存を考える」
主催	一般社団法人 全国精神保健福祉連絡協議会
共催	川崎市 公益社団法人 日本精神保健福祉連盟 日本財団
後援	公益社団法人 日本精神神経科診療所協会／公益財団法人 日本精神衛生会／一般社団法人 日本いのちの電話連盟／公益社団法人 全国精神保健福祉連合会 みんなねっと／一般社団法人 日本精神科看護協会／公益社団法人 日本精神保健福祉士協会／一般社団法人 日本作業療法士協会／公益財団法人 精神・神経科学振興財団／きょうされん／公益財団法人 こころのバリアフリー研究会／一般財団法人 日本公衆衛生協会／全国精神保健福祉センター長会／全国保健所長会／全国精神保健福祉相談員会／自殺対策円卓会議／一般社団法人 全国自死遺族連絡会／公益社団法人 日本精神神経学会／一般社団法人 日本臨床心理士会／公益社団法人 全日本断酒連盟／一般社団法人 神奈川県精神科病院協会／一般社団法人 神奈川県精神保健福祉協会／神奈川県精神保健福祉士協会／一般社団法人 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会／NPO法人 じんかれん／神奈川県精神保健ボランティア連絡協議会／公益社団法人 神奈川県栄養士会／公益社団法人 神奈川県介護福祉士会／田園調布学園大学／特定非営利活動法人 川崎市精神保健福祉家族会連合会 あやめ会／塩野義製薬株式会社／ヤンセンファーマ株式会社／特定非営利活動法人 神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会

アートとトーク・プログラム委員会委員名簿

氏名	所属
竹島 正	一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会会長 川崎市健康福祉局障害保健福祉部精神保健福祉センター所長
安彦 講平	アーティスト/平川病院造形教室主宰
有馬 儀人	「有馬忠士作品集-夢宇宙の闇と光をめぐる旅」編者
大塚 俊弘	国立精神・神経医療研究センター上級専門職
織田 信生	アーティスト/織田デザイン事務所
古茶 大樹	聖マリアナ医科大学精神神経科教授
坂井 貞夫	アーティスト/クロマニンゲン展実行委員会委員長
佐藤 幹夫	ルポライター
島園 進	上智大学グリーンケア研究所長
杉山 春	ルポライター
原 隆	川崎市市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室長
平川 淳一	平川病院院長
宮脇 護	川崎市健康福祉局障害保健福祉部長
山之内 芳雄	一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会副会長 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画部長

スケジュール

日程	曜	時間他	日数	内容
11月18日	土		-14	
11月19日	日		-13	
11月20日	月		-12	
11月21日	火		-11	
11月22日	水		-10	
11月23日	木		-9	
11月24日	金		-8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 荷受け期間 11月24日（金）及び 11月27日（月）～11月29日（水） </div>
11月25日	土		-7	
11月26日	日		-6	
11月27日	月		-5	
11月28日	火		-4	
11月29日	水		-3	
11月30日	木		-2	作品ピックアップ（田端）
12月1日	金	設営日 9時-22時使用可	-1	
12月2日	土	初日10-17時	1	「オープニングセレモニー・クロマニンゲン宣言」 13時～17時 会場：企画展示室
12月3日	日	10-17時	2	「ともにそだて、ともにいきる」 13時～17時（12時30分開場） 会場：第1-3研修室
12月4日	月	10-17時	3	
12月5日	火	10-17時	4	
12月6日	水	10-17時	5	
12月7日	木	10-17時	6	
12月8日	金	10-17時	7	
12月9日	土	10-17時	8	「つらくなること、なやむことを、ちからにする」 13時～17時（12時30分開場） 会場：第1-3研修室
12月10日	日	10-17時	9	「子どもが逆境を経験することについて」 13時～17時（12時30分開場） 会場：第1-3研修室
12月11日	月	10-17時	10	
12月12日	火	10-17時	11	
12月13日	水	10-17時	12	「みえないから、みえる」 13～17時（12時30分開場） 会場：会議室2
12月14日	木	10-17時	13	
12月15日	金	10-17時	14	
12月16日	土	10-17時	15	「コミュニティのトラウマとアートの役割」 13時～17時（12時30分開場） 会場：第1-3研修室
12月17日	日	最終日10-16時	16	「かく、みる、つなぐ-作品の社会的価値と保存を考える」 13-16時 会場：企画展示室 撤去～22時まで（完全退館）
12月18日	月			作品発送・返却（田端）

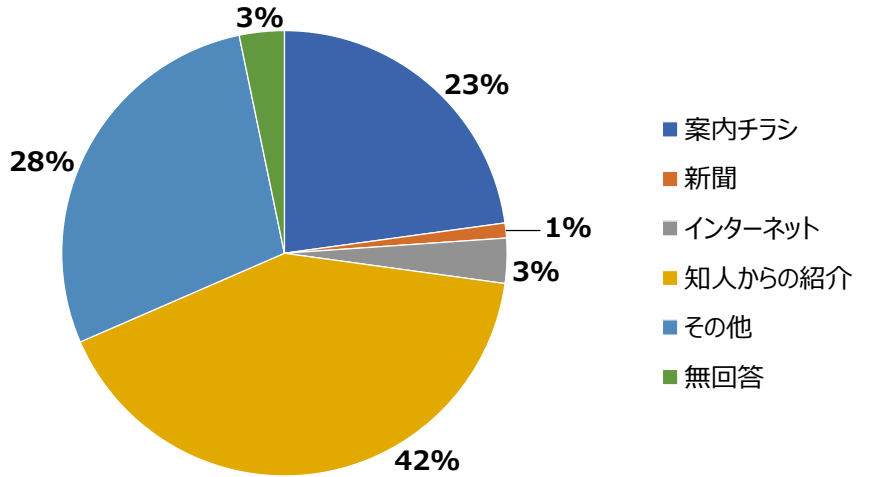
来場者数等

日付	曜日	展示室 入場者	トークイベント 事前申込	トークイベント 参加者	アンケート 回収数	芳名録	名刺お預り
12月2日	土	68	—	50	14	20	1
12月3日	日	59	21	43	8	30	0
12月4日	月	28			4	8	0
12月5日	火	9			0	2	0
12月6日	水	34			2	4	0
12月7日	木	27			5	5	0
12月8日	金	37			18	8	0
12月9日	土	83	26	40	9	16	0
12月10日	日	54	13	17	4	21	0
12月11日	月	21			2	3	0
12月12日	火	25			0	1	0
12月13日	水	33	7	15	1	3	2
12月14日	木	20			3	5	0
12月15日	金	23			10	3	0
12月16日	土	40	15	19	7	7	0
12月17日	日	65	13	56	5	29	0
合計		626	95	240	92	165	3

アンケート結果

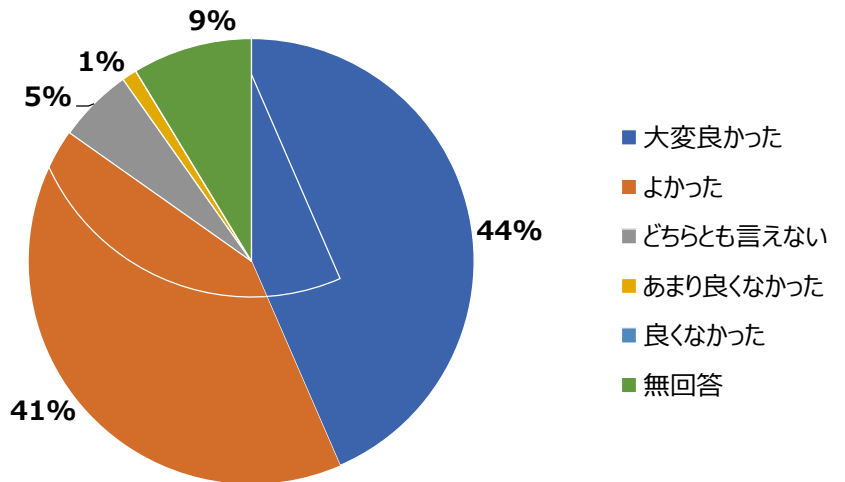
この作品展をどのようなルートで知りましたか。

案内チラシ	21
新聞	1
インターネット	3
知人からの紹介	38
その他	26
無回答	3
合計	92



この作品展をご覧になっていかがでしたか。

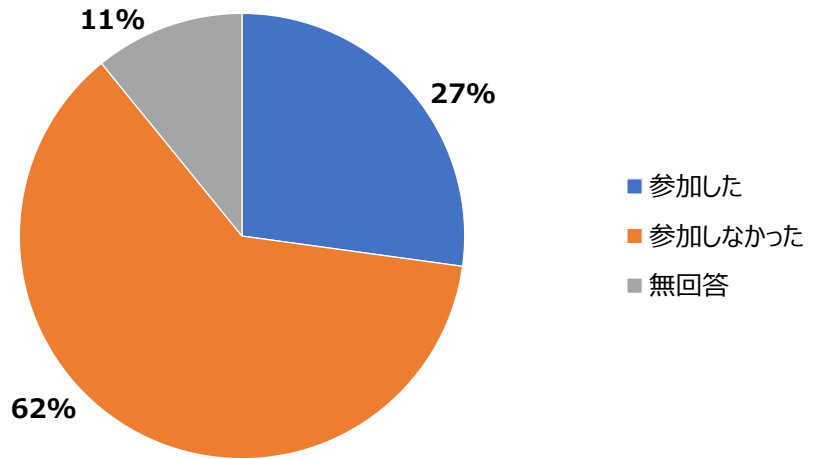
大変良かった	40
よかった	38
どちらとも言えない	5
あまり良くなかった	1
良くなかった	0
無回答	8
合計	92



アンケート結果

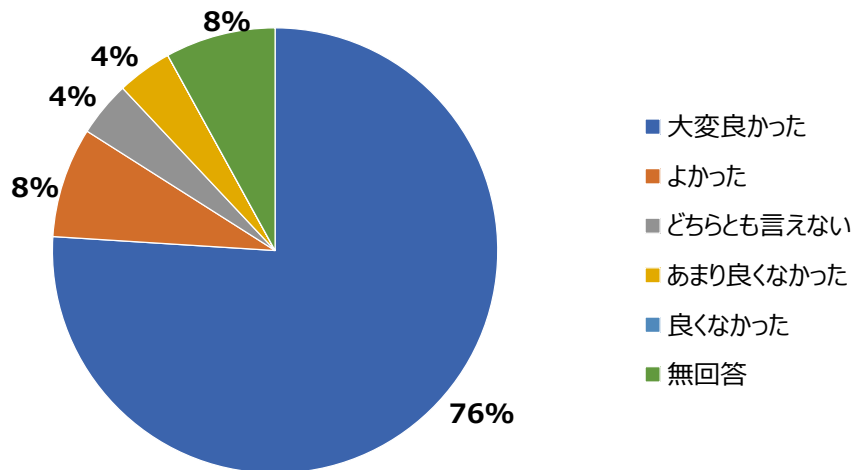
トークイベントに参加されましたか。

参加した	25
参加しなかった	57
無回答	10
合計	92



トークイベントに参加された方のみにお伺いいたします。
トークイベントに参加されていかがでしたか。

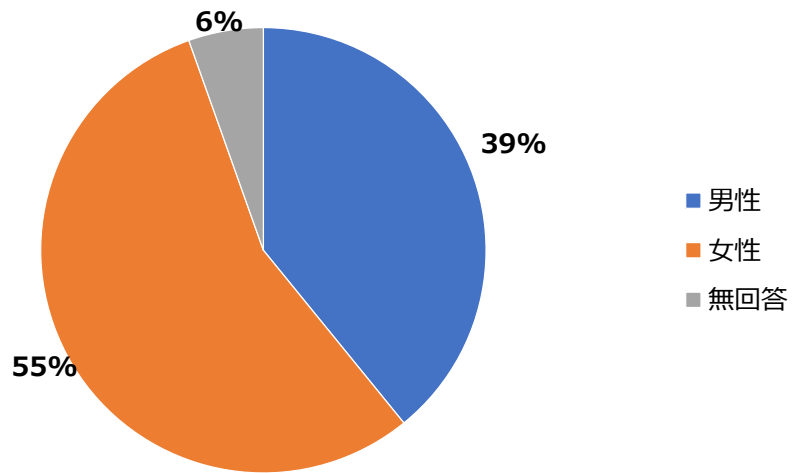
大変良かった	19
よかった	2
どちらとも言えない	1
あまり良くなかった	1
良くなかった	0
無回答	2
合計	25



アンケート結果

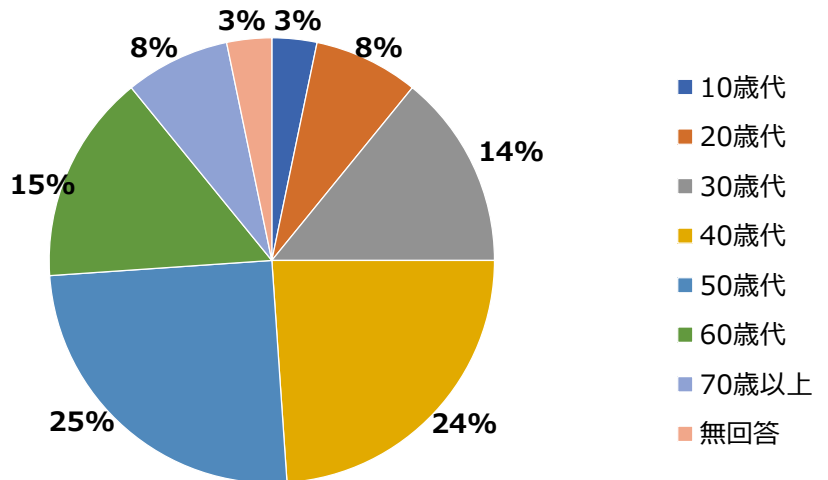
性別

男性	36
女性	51
無回答	5
合計	92



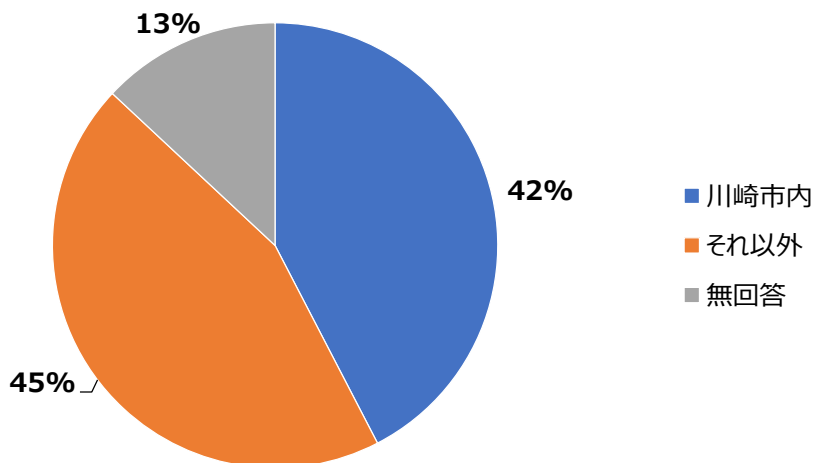
年代

10歳代	3
20歳代	7
30歳代	13
40歳代	22
50歳代	23
60歳代	14
70歳以上	7
無回答	3
合計	92



在住勤学

川崎市内	39
それ以外	41
無回答	12
合計	92



12月1日号 東京新聞TODAY



12月8日号 東京新聞TODAY



12月11日

朝日新聞

こころに健康を 絵で、語らいで 川崎でイベント、あす～17日

こころの健康をテーマにした絵画展示やトークイベント「かく、みる、つなぐーこころの軌跡をたどる」が2～17日、川崎市幸区のミュージア川崎シンフォニーホール企画展示室などを会場に開かれる。精神科医やジャーナリストが参加、多様性社会について考える狙いだ。

全国精神保健福祉連絡協議会が主催して初めて開催するもので、川崎市などが共催。トークイベントは申し込みが必要なものがある。入場無料。

展示は期間中開催。「有馬忠士ー夢宇宙の闇と光をめぐる旅」は、精神科病院に数回入退院しながら、デッサンや油絵に取り組んだ職人の作品を紹介。「王様と私と強者たち」は、精神障害者の肖像画を描いている織田信生さんの作品を展示する。

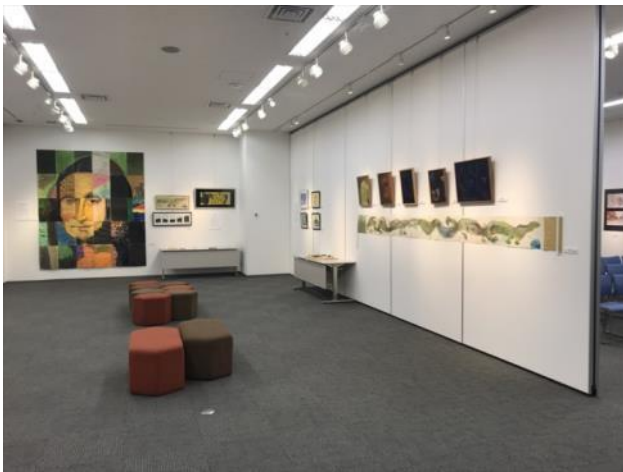
トークイベントは精神疾患や虐待、震災などがテーマ。3日午後1時からの「ともにそだて、ともにいきる」は、大学教授やジャーナリストが参加する発達障害などについてのシンポジウム。9日午後1時からの「つらくなること、なやむことを、ちからにする」は、精神疾患を経験することについて精神科医と当事者が語り合う。10日午後1時からの「子どもが逆境を経験することについて」は、虐待と、そこからの成長についてがテーマとなっている。

全国精神保健福祉連絡協議会の竹島正会長は「障害にとらわれず、その人の生き方や表現力に目を向け、共生や多様性についていろいろと感じて欲しい」と参加を呼びかけている。問い合わせは同協議会（042・345・6608）。

サキの毛に結晶を作ること

波 有

作品展示



作品展示



12月2日（土）

ギャラリーツアー「オープニングセレモニー・クロマニンゲン宣言」



全国精神保健福祉連絡協議会会長 竹島正



川崎市長 福田紀彦



日本精神保健福祉連盟理事長 鹿島晴雄

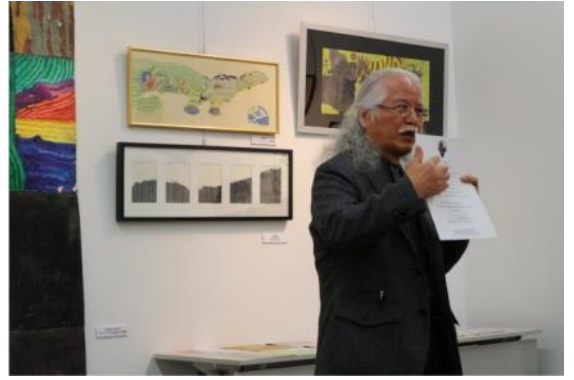


日本財団 ソーシャルイノベーション本部
国内事業開発チームリーダー 竹村利道

12月2日（土）



司会：南日本放送アナウンス部長 上野知子



坂井貞夫



朗読：江中裕子



有馬意人



魔可多宮ナツ



橋爪栄



毛利正之

12月2日 (土)



織田信生



安彦講平



12月3日（日）

「ともにそだて、ともにいきる」

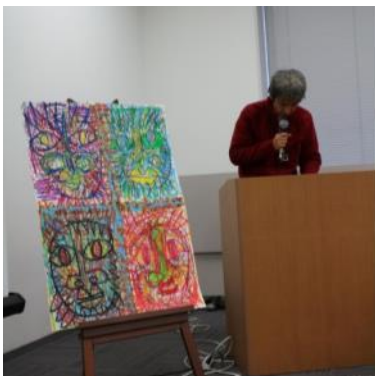
基調講演「そだつことと、そだちのおくれ」滝川一廣（学習院大学）

シンポジウム「ともにそだて、ともにいきる」滝川一廣（学習院大学）、佐藤幹夫（ジャーナリスト）、島園進（上智大学グリーンケア研究所）、コーディネーター 佐藤幹夫（ジャーナリスト）



12月9日（土）

「つらくなること、なやむことを、ちからにする」
基調講演「こころの病を経験することについて」
古茶大樹（聖マリアナ医科大学）
シンポジウム「私の生きかた、暮らしかた」精神
疾患を経験した当事者
コーディネーター 杉山春（ジャーナリスト）



12月10日（日）

トークセッション

「子どもが逆境を経験することについて」

基調講演 石井光太（ジャーナリスト） 大塚
俊弘（国立精神・神経医療研究センター）
コーディネーター 竹島正（全国精神保健福
祉連絡協議会／川崎市精神保健福祉セン
ター）



トークセッション

「みえないから、みえる」

基調講演 成澤俊輔 (NPO法人 FDA)
生駒芳久 (特定医療法人和歌浦病院)
大塚俊弘 (国立精神・神経医療研究センター)



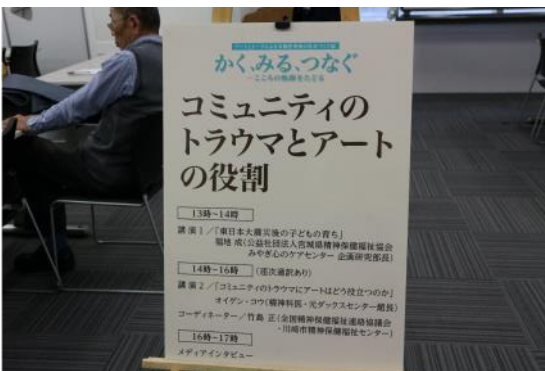
12月16日（土）

「コミュニティのトラウマとアートの役割」

講演 1「東日本大震災後の子どもの育ち」
福地成（公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター）

講演 2「コミュニティのトラウマにアートはどう役立つのか」

オイゲン・コウ（精神分析的精神科医）
コーディネーター 竹島正（全国精神保健福祉連絡協議会／川崎市精神保健福祉センター）



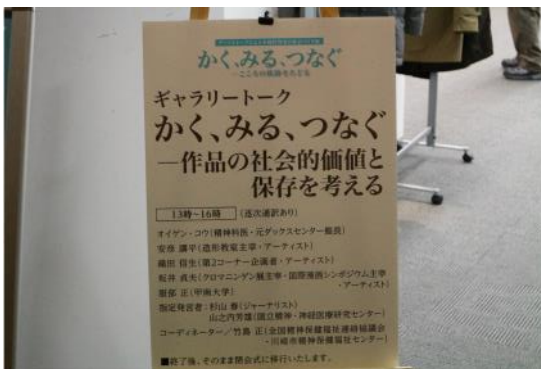
12月17日（日）

ギャラリートーク「かく、みる、つなぐ、作品の社会的価値と保存を考える」

安彦講平、織田信生、坂井知子（代理）、服部正、オイゲン・コウ、山之内芳雄（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

指定発言者 杉山春（ジャーナリスト）

コーディネーター 竹島正（全国精神保健福祉連絡協議会／川崎市精神保健福祉センター）



12月17日 (日)

